

◎は、看護師のみ ☆は、介護福祉士のみ

キャリア	達成目標	教育目標	患者を総合的にとらえ、適切なアセスメントから評価ができる 看護実践能力	冷静な判断・決断ができ適切なリーダーシップがとれる リーダーシップ・マネジメント能力	社会人としての自覚を持ち責任のある行動と良好な人間関係を築くことができる 対人関係能力	看護の専門職としての自己実現を目指すことができる 教育・研究能力	学研ナースングサポート
新人教育プログラム	知識・技術	①患者看護手順書・マニュアルに沿って安全・確実に実施できる。 ②患者に統一した看護を提供するために、医療チームの一員としての自己の役割を自覚し、行動がとれる。 ③環境に慣れ、患者との良好な人間関係を築くことができる。	* 新人オリエンテーション * 看護部オリエンテーション * 感染対策研修(基礎) + 院内研修2回/年の参加 * 救急法 (BLSの習得) レベル: 指示を受けながら救急対応ができる	* 固定チームナースング研修 (チームメンバーの役割)	* 接遇研修 * チーム医療の理解 * 患者・家族とのコミュニケーション * 社会人としての対応・職場の規律の理解 * 豊かな感性の育成 絵本の購読・レポート * 厚生連新人職員研修	* 入職時の看護観のまとめ ◎ ケーススタディ: 院内発表	基礎習得コース4月～翌3月 12回/月全コース習得
	態度	①環境に基づいて看護技術が安全・確実に実施できる。 ②受け持ち看護職として、看護過程の計画の立案・評価・修正の展開ができる。	* 看護過程 ◎ 呼吸器・除細動器の学習会 * 看護協会・介護福祉士会研修会1回/年 * 救急法 レベル: 緊急時の対応でリーダーシップがとれる * 感染対策 * リスクマネジメント研修 事例分析法の習得 危険予知訓練	* 固定チームナースング研修 (チームメンバーの役割)	* 接遇研修 * リフレッシュ研修(厚生連) * 厚生連初級職員研修	◎ 事例研究: 院内発表	基礎習得コース 4月～翌3月 5コース習得
	コミュニケーション	③患者・家族とのコミュニケーションを理解し、良い人間関係を築くことができる。	* 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 固定チームナースング研修 (チームメンバーの役割)	* 豊かな感性の育成 看護体験を語る会		
卒業2年目	知識・技術	①環境に基づいて看護技術が安全・確実に実施できる。 ②受け持ち看護職として、看護過程の計画の立案・評価・修正の展開ができる。	◎ 呼吸器・除細動器の学習会 現場指導者として機能する * 看護協会・介護福祉士会研修会1回/年 * 厚生連看護師研修会 * 救急法(ACLSの取得) レベル: 緊急時の状況判断ができ、家族への対応を含めてできる	* 固定チームナースングの研修 (チームメンバーの役割と応援機能) * 小集団活動のリーダーとして実践報告ができる	* 接遇研修 * リフレッシュ研修(厚生連) * 厚生連初級職員研修	◎ ケーススタディ	基礎習得コース 4月～翌3月 5コース習得 看護研究コース
	態度	③患者・家族・他の医療チームとの良好なコミュニケーションがとれる。	* 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 問題解決手法の習得: QC活動 * 看護部委員会のメンバーとしての活動		◎ QC: 院内発表(リーダー)	
	コミュニケーション	④患者・家族・他の医療チームとの良好なコミュニケーションがとれる。	* 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 問題解決手法の習得: QC活動 * 看護部委員会のメンバーとしての活動			
卒業3年目	知識・技術	①患者・家族の状況に応じて個々に基づいた看護が提供できる。 ②増進学生の臨床指導ができる。	◎ 呼吸器・除細動器の学習会 現場指導者として機能する * 看護協会・介護福祉士会研修会1回/年 * 厚生連看護師研修会 * 救急法(ACLSの取得) レベル: 緊急時の状況判断ができ、家族への対応を含めてできる	* 固定チームナースングの研修 (チームメンバーの役割と応援機能) * 小集団活動のリーダー	* 接遇研修 * リフレッシュ研修(厚生連) * 厚生連初級職員研修	◎ ケーススタディ	基礎習得コース 4月～翌3月 5コース習得 看護研究コース
	態度	③患者・家族・他の医療チームとの良好なコミュニケーションがとれる。	* 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 問題解決手法の習得: QC活動 * 看護部委員会のメンバーとしての活動		◎ 院内発表(リーダー)	
	コミュニケーション	④患者・家族・他の医療チームとの良好なコミュニケーションがとれる。	* 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 問題解決手法の習得: QC活動 * 看護部委員会のメンバーとしての活動			
卒業4年目	知識・技術	①患者・家族の状況に応じて個々に基づいた看護実践が後輩の育成ができる。	◎ 新人実地指導者研修 * 看護協会・介護福祉士会研修会1回/年 * 厚生連看護師研修会 * 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 固定チームナースングの研修 (チームメンバーの役割と応援機能) * 小集団活動のリーダー	* 接遇研修 * 厚生連初級職員研修	◎ 実地指導者としてのふり返り	中堅コース 4月～翌3月 5コース習得 看護研究コース
	態度	②受け持ち看護職として自己の責任を理解しリーダーシップが発揮できる。	* 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 問題解決手法の習得: QC活動 * 看護部委員会のメンバーとしての活動		* QC: 院内発表(リーダー)	
	コミュニケーション	③患者・家族・他の医療チームとの良好なコミュニケーションがとれる。	* 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 問題解決手法の習得: QC活動 * 看護部委員会のメンバーとしての活動			
5年以上	知識・技術	①自己啓発や相互啓発に努め、上司に協力して、医療の進歩に応じた看護実践ができる。 ②看護実践のリーダー・ジェネラリストとして役割モデルとなる。 ③日替わりリーダーとして日々の看護に責任が持てる。	* 新人実地指導者研修 * 看護協会・介護福祉士会研修会1回/年 * 厚生連看護師研修会 * 看護倫理: 問題の把握と申告 * リスクマネジメント・感染対策	* 固定チームナースングの研修 (チームメンバーの役割と応援機能) * 小集団活動のリーダー	* 接遇研修 * 厚生連初級職員研修	◎ 実地指導者としてのふり返り	中堅コース 4月～翌3月 5コース習得 看護研究コース
	態度	④組織内での問題発見や解決のために、部長・主任と連携・連絡しながら、職場風土づくりに積極的に貢献することができる。	* 看護倫理: 問題の分析と指導 * リスクマネジメント 現場指導者としての役割(問題提起など)	* 問題解決手法の習得: QC活動 * 看護部委員会のメンバーとしての活動		* 看護・介護研究(学会発表へのチャレンジ)	看護研究コース
	コミュニケーション	⑤医療チームの連携・調整に積極的に関わり、良好なコミュニケーションがとれる。	* 感染管理 * 委員会活動・研修会等の企画運営	* 委員会活動・研修会等の企画運営		* 看護・介護研究(0年ごとにレポートする)	
主任	知識・技術	①後輩の役割モデルになり、専門性を発揮できる。 ②看護単位における看護実践の指導ができる。	* 看護管理職研修(厚生連) * 看護協会・介護福祉士会研修会1回/年 * 看護協会・介護福祉士会専門研修 * 退院支援研修(訪問看護研修を含む)	* 幹部看護師研修会(厚生連) * 固定チームナースングの研修 (日替わりリーダーとチームリーダーの役割)	* 接遇研修	* 介護支援専門員資格の取得(6年目から)	管理職・チーム医療コース 4月～翌3月 5コース習得
	態度	②医療チーム内でのリーダーシップがとれる。	* 看護研究・QCの指導者研修 * 感染管理 * リスクマネージャー研修 * 看護研究・QCの指導者研修 * 看護倫理: 問題の分析と指導	* ファーストレベル研修 * 看護研究院内発表会の企画運営 * 教育委員会の企画運営 * 固定チームナースングの研修 * 研修の企画と講師の役割		* 看護・介護研究(院外学会発表へのチャレンジ) * 認定看護師へチャレンジ	
	コミュニケーション	③人間関係の調整ができる。	* 看護研究・QCの指導者研修 * 看護倫理: 問題の分析と指導				
師長	知識・技術	①看護単位における問題を明確にし、目標を示しながら管理行動がとれる。 ②増進サービスの質の向上に向けたマネジメント ③看護単位における教育的立場がとれる。	* 看護管理職研修(厚生連) * リスクマネージャー研修 * 感染管理 * 看護研究・QCの指導者研修 * 看護倫理: 研修の企画と運営	* セカンドレベル研修 * 研修の企画と講師の役割 * 看護部のマネジメントへの参画 * 看護協会会員の管理 * 教育委員会の企画運営 * 部署の目標管理	* MBO指導者研修(厚生連)	* 介護支援専門員資格取得	管理職・チーム医療コース 4月～翌3月 5コース習得
	態度	④良好な人間関係を築くことができ、職場を活性化できる。	* 看護研究・QCの指導者研修 * 看護倫理: 研修の企画と運営			* 看護・介護研究(院外学会発表へのチャレンジ)	
	コミュニケーション	⑤患者・家族とのコミュニケーションを理解し、良い人間関係を築くことができる。	* 看護倫理: 問題の把握と申告				
パート職員(義務化)	知識・技術	①環境に基づいて看護技術が安全・確実に実施できる。 ②患者に統一した看護を提供するために、医療チームの一員としての自己の役割を自覚し、行動がとれる。 ③患者・家族とのコミュニケーションを理解し、良い人間関係を築くことができる。	* リスクマネジメント研修 2回/年 * 感染対策研修参加 2回/年 * マスターチェックの実施 * 救急法 レベル: 緊急時の状況判断ができ、家族への対応を含めてできる		* 病院・看護部全体集会への参加 * 接遇研修	看護研究発表会への参加 院内研修への積極的参加	コース選択は自由 4月～翌3月 3コース習得